



平成 20 年 5 月 9 日

各 位

株 式 会 社 ウ ィ ザ ス  
代表取締役社長 堀 川 一 晃  
(コード番号 9 6 9 6)  
(問合せ先)  
常務取締役統括支援本部長  
井 尻 芳 晃  
T E L . 0 6 ( 6 2 6 4 ) 4 2 0 2

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 18 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期の業績予想（連結・個別）につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前 回 予 想 ( A )	14,013	1,415	1,256	68	7 円 17 銭
今 回 修 正 ( B )	13,132	1,042	895	△115	△12 円 10 銭
増 減 額 ( B - A )	△881	△373	△361	△183	—
増 減 率 ( % )	△6.3	△26.4	△28.7	—	—

#### 2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前 回 予 想 ( A )	12,614	1,295	1,165	24	2 円 54 銭
今 回 修 正 ( B )	11,730	873	693	△293	△30 円 86 銭
増 減 額 ( B - A )	△884	△422	△472	△317	—
増 減 率 ( % )	△7.0	△32.6	△40.5	—	—

#### 3. 修正の理由

当連結会計年度における連結業績につきまして、当初計画値を下回る見込みとなりました。

これは、学習塾事業部門、高認・サポート校事業部門とも、当初計画値に比して、売上高の減少が主要因であります。

学習塾事業部門は、当連結会計年度は、基本的視点から内部充実の年度と位置づけ、成

績向上を最大のミッションとして校運営を行なってまいりましたが、その取り組みの成果としての在籍生徒数の増加がずれ込み、冬期講習会から新年度の生徒募集にかけて現れてまいりました。

高認・サポート校事業部門は、高認制度の認知拡大を重点項目として取り組みましたが、十分に結果を残すことができず、期中平均生徒数は増加したものの、授業料単価の高い高認コースの生徒数が減少するという結果となりました。

以上の結果、売上高が当初計画値を下回る見込みとなりましたが、人件費、広告宣伝費、業務委託費等の経費執行の抑制に加えて、連結子会社、特に㈱ハーモニック、並びに当連結会計年度下期より連結子会社に加わりました㈱佑学社が利益面では大きく貢献し、売上高の減少幅に比して、当初計画値との減少幅を縮小することができる見込みであります。

以上のとおり、当社の連結・個別業績は、平成19年5月18日に公表しました計画値と比べて、売上高・利益とも減少する見込みであります。

(注) 上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上